

新刊案内



しましまかしてください

林なつこ



ひつじの王さま

オリヴィエ・タレック

絵でわかる人工知能 明日使いたくなるキーワード68

----- 三宅陽一郎・森川幸人

悲劇の誕生 ----- ニーチェ

九条兼実 社稷の志、天意神慮に答える者か -- 加納重文

ウユニ塩湖世界一の「奇跡」と呼ばれた絶景 -- TABIPPO

いつものおかずをおいしくココナッツオイルの感動レシピ

----- ワタナベマキ

菌世界紀行 誰も知らないきのこを追って -- 星野保

極茶の湯釜 茶席の主 ----- MIHO MUSEUM

決戦！本能寺 ----- 伊東潤(他)



「サルバドール・ダリ」

今年、京都市美術館と国立新美術館にて、ダリ展が開催されました。ダリはシュルレアリスム（フランスの詩人アンドレ・ブルトンが提唱した思想活動）を代表するフランスの画家です。風貌はピンと上を向いた口髭が特徴的で、日本においても非常に人気の高い画家の一人です。時計がぐにやりと溶けているように見える「記憶の固執」という名作を目にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。今回は、風貌もその作品においてもインパクトの強いダリに関する本をご紹介します。

村松和明『もっと知りたいサルバドール・ダリ 生涯と作品』。ダリの生い立ちから始まり、その生涯をたどりながら、主だった作品の制作時期や解釈などを、分かりやすく解説しています。画家ダリを知る入門書として最適な一冊です。

キャサリン・イングラム『僕はダリ』。ダリの生涯が、個性的なイラストと文章で紹介されています。彼の作品はもとより、その人となりや、生きた軌跡についてもっと深く知りたい方にお勧めです。

ラルフ・シーブラー『ダリ 夢のリアリティー』。ダリの生涯や作品について、精神分析を交えながら解説しています。また、作品が生まれた背景なども紹介されています。この本を読んだ後、彼の作品をより身近に感じることができるようかもしれません。

1月の休館日

1日(日・祝)～4日(水)、16日(月)、
23日(月)、27日(金)、30日(月)

開館時間

火～金曜日 午前10時～午後7時
土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時

お知らせ

平成29年1月21日(土)～31日(火)まで、加藤隆一さん(下石町)のご協力により「年賀郵便切手の図案に採用された郷土玩具展」を開催します。昭和29年に初めて採用されて以降の全95点を、年賀切手とあわせて一堂に展示します。素朴で人間味あふれる郷土玩具の数々を、この機会にぜひご覧ください。